

## 【第5号議案】平成20年度事業計画の件

社団法人 日本スポーツ吹矢協会

平成20年度 事業計画

第3期(自平成20年4月1日至平成21年3月31日)

### 事業方針

平成19年度の事業方針を踏まえ、更にスポーツ吹矢の浸透を通じ、一層の健康促進に寄与するとともに、公益法人の目的に沿った事業活動を推進して参ります。

### 事業内容

#### 1. スポーツ吹矢の普及・振興

##### 1) 広報活動

スポーツ吹矢を体験したい方々のためにより多くの体験教室を開設する。

各都道府県の組織体制の整備を進める。

各方面単位で支部長会(公認指導員を含む)を開催する。

##### 2) 支部の設立

平成20年度の支部設立目標を100支部とする。

平成20年度の重点目標として、支部数が少ない県(地域)に対して組織体制の整備を図るよう促す。

##### 3) 段・級位の認定

三段以上の昇段試験を協会本部だけではなく、各県(方面を含む)支部の要請を受けて試験官を派遣し実施する。

本年度の昇級・昇段取得者の目途として次を目標とする。

級位取得者 : 3,500名

段位取得者 : 2,000名

#### 2. スポーツ吹矢に関する競技大会の開催

##### 1) 第11回全国大会の開催

日程 : 平成20年6月8日(日)

会場 : 東京・江東区「Bumb 東京スポーツ文化館」

参加者: 400名を予定

##### 2) 第16回スポーツ吹矢フェスティバル

全国の初心者及び有級者による個人・団体戦を行う。

但し、本戦以外にスピード競技、パーフェクトナイン競技も併せて行う。

期日 : 平成20年10月19日(日)  
会場 : 東京・江東区「Bumb 東京スポーツ文化館」  
参加者: 400名を予定

3)吹初めの会

年始の稽古始めとして、毎年1月初旬に開催する。

期日 : 平成21年1月初旬  
会場 : 東京・中央区「紙パルプ会館 フェニックスホール」  
参加者: 200名を予定

4)「第2回青柳杯」

三段以上のメンバーによる名人戦を行う。

期日 : 平成19年4月13日(日)  
会場 : 東京・江東区「Bumb 東京スポーツ文化館」  
参加者: 300名を予定

5)「第1回障害者スポーツ吹矢競技会」

障害者を対象とした大会を開催する。

期日 : 平成20年9月19日(金)  
会場 : 東京・港区スポーツセンター  
参加者: 50名を予定

6)カルチャー大会

東京を中心に首都圏のカルチャー教室の生徒を対象とした競技大会を行う

期日 : 平成20年7月27日(日)  
会場 : 東京・江東区「有明スポーツセンター」  
参加者: 300名を予定

7)支部・県大会の開催

第6回神奈川県大会

期日 : 平成20年2月11日(月)  
会場 : 平塚アリーナ

第9回スポーツ吹矢埼玉県大会

期日 : 平成20年4月20日(日)  
会場 : 戸田市スポーツセンター

東京都支部大会

期日 : 平成20年5月11日(日)  
会場 : BumB スポーツ文化館

大阪府連大阪大会

期日 : 平成20年11月1日(土)  
会場 : 大阪市南御堂会館

## 千葉県連支部連合大会

期日：平成20年11月30日(日)

会場：船橋市青少年会館

### 3. 公認指導員・審判員の養成及び認定

- 1) 平成19年度の公認指導員の養成及び認定については、養成講習会及び研修会を、春(3月～5月)、秋(10月～11月)の2回実施する。
- 2) 養成講習会及び研修会では、公認指導員は競技審判員を兼ねるため、審判要綱の研修実施講習を受講させる。
- 3) 本年度の公認指導員の増加については、250名を目途とする。
- 4) 上級公認指導員制度を発足させ、公認指導員育成を促す。
- 5) 本年度の上級公認指導員の認定は100名を目途とする。

### 4. 国際交流の実施

- 1) 昨年度に引き続き、第3回ハワイ交流団の派遣を行う。
- 2) 毎年行われるスポーツ吹矢フェスティバル(初心者・有級者対象)への在日外国人及び留学生、外国人の参加を推進する。

### 5. スポーツ吹矢に関する腹式呼吸及び健康に関する研究調査

- 1) 前年度発足した研究機関において、調査研究を行った内容を、会報への掲載や、小冊子・リーフレット等を作成し配布する。
- 2) 研究調査チームによるセミナー「スポーツ吹矢と健康」(仮題)の開催(日程は未定)。

### 6. その他、目的を達成するための必要な事業

- 1) 前年度に引き続き、障害者へのサポート事業を推進するために、各県内の障害者施設への訪問を行う。更に腹式呼吸の訓練のため、サポート教室を開催していく。
- 2) 障害者用の吹矢用具の開発を進める。
- 3) 障害者スポーツ吹矢連絡協議会を設置する。
- 4) 障害者スポーツ吹矢競技会を開催する。